



こんにちは 日本共産党府議会議員
さこ祐仁 議会報告

2011年6月26日 NO120号
連絡場所
日本共産党上京生活相談所
813-2117

「そもそも琵琶湖に影響を与えるような原発事故は起こらない」 (関西福井原発群を調査6/8)

共産党府会・市会議員団、兵庫県議団、綾部・舞鶴市か議員団と合同で関西電力の原発群を訪れ、6月8日に合同調査しました。

県原子力担当課、防災担当課から説明を受け、質問。

関西電力本店、京都支店にそれぞれ国会議員、京都府・市議団らが福島原発事故が起こり、多くの府民が若狭湾に多数ある原発について心配している。原発の安全対策を強化すべき」「原発11基のうち、7基が30年以上運転をしている。老朽原発は計画的に廃止すべき。また停止中の原発は再開を中止すべき」と強く求めました。関電側は「適切に管理すれば60年運転は可能」などと、原発の維持に固執しました。一方、過去の津波調査については「津波があったのか情報を蓄積するため、調査方法などを検討している」と述べました。

関電（11基）に申し入れ
共産党府委員会、5月31日 京都支店
共産党国会議員団近畿ブロック事務所
6月13日 関西電力本店

ナトリウムの実験



福井県には14基の原発があり、うち11基が関電の原発。美浜発電所はじめ、同県の原発の多くが、活断層の1キロ以内に立っています。

私が「近畿の水がめ琵琶湖が、全域すっぽり収まり、原発でひとたび事故が起これば、関西全域に影響がおよぶことについて、どのように考えているのか」の質問に、県の課長は「そもそも琵琶湖に影響を与えるような原発事故は起こらない」と答えました。

私は、県の職員まで「原発の安全神話」にしがみついているんじゃない、いま党が提起している原発からの撤退、自然エネルギーへの転換のために頑張らねばと改めて決意しました。

議会報告会を開催

6月20日（月）

千本出水生活相談所にて



6月12日 住宅デー開催



公約実現へ前進！

5月臨時議会がなぜ延期になったのか、補正予算への態度、防災計画の暫定的見直し等について報告しました。これからも定期的を開催してとの要望が多数ありました。

住宅耐震改修助成制度が改善！

* 自己負担の軽減と対象が広がる

対象住宅 木造住宅・流通住宅

補助対象額 120万円（住宅所有者負担が1/2から1/4に）